



1. 事業評価説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業(国補)]	事業箇所	上野原市松留	地区名	松留の3(まつどめの3)	事業主体	山梨県											
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 松留の3地区は山梨県東部の上野原市に位置し、一級河川鶴川右岸沿いの傾斜地であり、斜面下端には人家やアパートが存在する。当該斜面は、平均斜面高2.7m、平均勾配60度の急傾斜地であり、平成21年3月9日には土砂災害警戒区域に指定されている。 平成28年1月23日には、経年劣化により斜面の一部が崩壊し、アパートへの被害が発生しており、斜面崩壊対策が急務となっている。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○崖崩れ被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害実績：有(H27年度) 保全人家戸数：人家3戸、鉄骨アパート3棟【換算14戸】、木造アパート1棟【換算14戸】合計31戸>5戸以上※ 土砂災害警戒区域における災害発生時の影響：重要公共施設無 <p style="text-align: right;">※：評価基準値</p> <p>□副次目標 —</p> <p>□副次効果 —</p>		<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・急傾斜地法第12条により、行政が行うことが妥当。</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。</p> <p>③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p style="text-align: center;">費用便益費 便益(B)/費用(C) = 3.7 > 1.0</p> <p style="text-align: center;">・便益(B) = 1,166百万円、・費用(C) = 316百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・地形状況を考慮し、必要最小限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・地形・地質状況から最も効果的・経済的な工法とした。</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・緑化等を行い環境に配慮する。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p>・地元要望に基づいており、地域の同意は得られている。</p>		<p style="text-align: right;">妥当・妥当でない</p>														
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 法枠工 A=3,000m² 鉄筋挿入工 N=1,100本</p> <p>②整備期間 平成28年度～平成36年度</p> <p>③総事業費 約370百万円 (国費：166.5百万円(4.5/10)、県費：166.5百万円(4.5/10)、市：37百万円(1.0/10))</p> <p>④全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="0"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>10百万円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>用地測量、用地取得・補償、法面保護工事</td> <td>20百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>法面保護工事</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>法面保護工事</td> <td>30百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度以降</td> <td>法面保護工事</td> <td>280百万円</td> </tr> </table> <p>⑤既整備内容・期間・事業費 なし</p>		平成28年度	地形測量、地質調査、詳細設計	10百万円	平成29年度	用地測量、用地取得・補償、法面保護工事	20百万円	平成30年度	法面保護工事	30百万円	平成31年度	法面保護工事	30百万円	平成32年度以降	法面保護工事	280百万円	<p>総合評価 [貢献度ランク：b] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	
平成28年度	地形測量、地質調査、詳細設計	10百万円																
平成29年度	用地測量、用地取得・補償、法面保護工事	20百万円																
平成30年度	法面保護工事	30百万円																
平成31年度	法面保護工事	30百万円																
平成32年度以降	法面保護工事	280百万円																
		<p>【事業位置図等】</p> 																

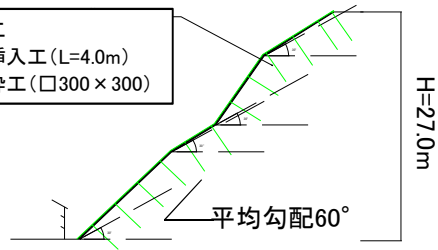
2. 添付資料シート

①斜面状況写真



標準横断面図

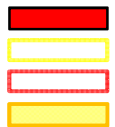
対策工
鉄筋挿入工 (L=4.0m)
吹付砕工 (□300×300)



保全人家



施工箇所
土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域
保全人家・アパート



市道及び保全人家

